

12

2. 角の大きさ

📖 28~30

なまえ

1つ20点

点

1

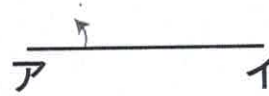
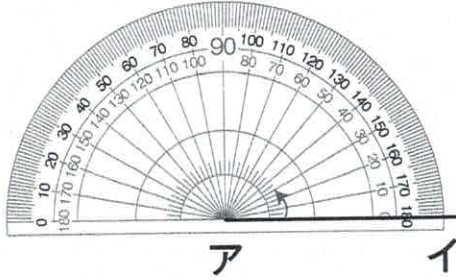
1 点アを頂点として、次の角を下のほうにかきましょう。

① 80°

② 130°

🌱 ヒント

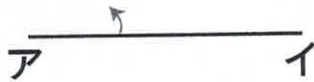
分度器の中心を点アに合わせ、0°の線を辺アイに合わせよう。



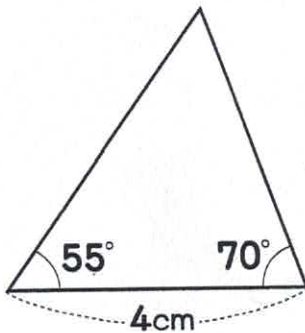
2 点アを頂点として、次の角を下のほうにかきましょう。

③ 25°

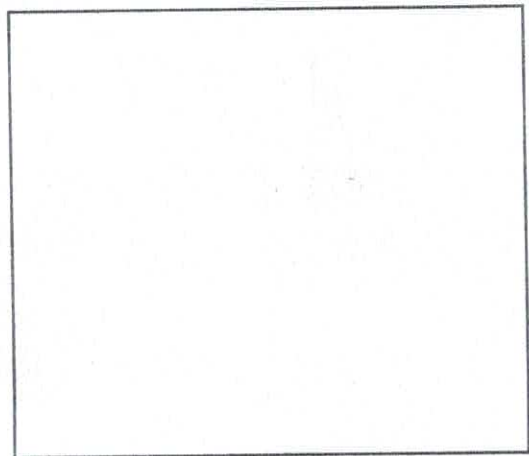
④ 140°



3 下の図のような三角形をかきましょう。

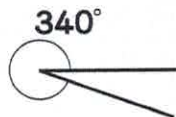


⑤



おもしろさんすう

? 340°の角をかくには、分度器の何度のめもりを使うとよいですか。
あ、い、うで答えましょう。



- あ 20°
- い 30°
- う 40°

()

13

2. 角の大きさ

□ 31~33

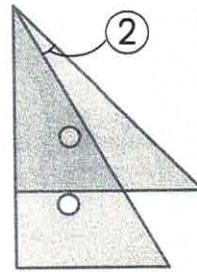
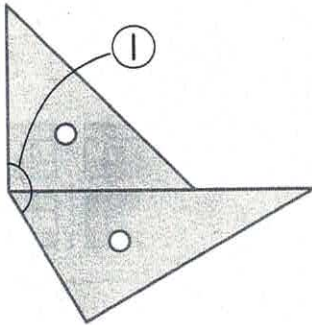
なまえ

1つ25点

点

きほん

1 | 組の三角じょうぎを組み合わせて、いろいろな角度をつくりました。①、②の角度は何度ですか。



① 式 + =

② 式 - =

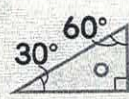
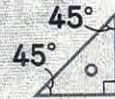
答え ()

答え ()



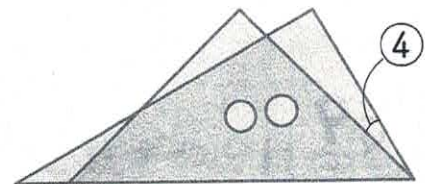
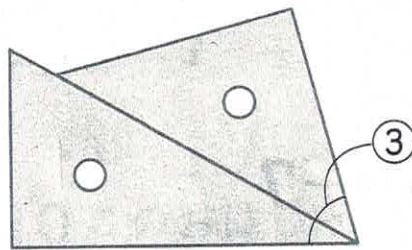
ヒント

三角じょうぎの角の大きさは決まっているよ。



れんしゅう

2 ③、④の角度は何度ですか。



③ 式

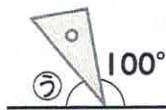
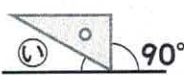
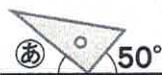
④ 式

答え ()

答え ()

おもしろさんすう

？ 同じ三角じょうぎで角度をつくりました。いちばん大きい角度は㉠、㉡、㉢のどれですか。



()

① 読み方を書きましよう。

ア
イ

② 筆順に気をつけて練習しましよう。

④ 愛のつく言葉を書きましよう。

愛犬	愛読書
愛犬	愛読書
愛犬	愛読書
愛犬	愛読書
愛犬	愛読書
愛犬	愛読書
愛犬	愛読書
愛犬	愛読書
愛犬	愛読書
愛犬	愛読書

⑤ 愛を使って、文を一つ作りましよう。

愛犬をかへ。

(れい) これは、母の愛読書だ。

部首 愛

13 画

③ 画数

にている字

愛犬 けん

受話器 き

意味 このむ。すき。

① 読み方を書きましよう。

ジュン

② 筆順に気をつけて練習しましよう。

④ 順のつく言葉を書きましよう。

道順	手順	順川	順川
道順	手順	順川	順川
道順	手順	順川	順川
道順	手順	順川	順川
道順	手順	順川	順川
道順	手順	順川	順川
道順	手順	順川	順川
道順	手順	順川	順川
道順	手順	順川	順川
道順	手順	順川	順川

④ 順のつく言葉を書きましよう。

⑤ 順を使って、文を一つ作りましよう。

運ぶところの順い。

(れい) 駅までの道順をたずねる。

部首 順

12 画

③ 画数

なりたち

さからわずに、人にしたがう意味を表す。

順 ↓ 順

意味 ①じゆん番。②さからわずに進む。

① 読み方を書きましよう。

音 サク

とめる

① 読み方を書きましよう。

訓 おと

音 フウ

はらう

④ 昨のつく言葉を書きましよう。

② 筆順に気をつけて練習しましよう。

④ 夫のつく言葉を書きましよう。

昨日	昨日
昨日	昨日
昨日	昨日
昨日	昨日
昨日	昨日
昨日	昨日

④ 夫のつく言葉を書きましよう。

② 筆順に気をつけて練習しましよう。

⑤ 夫を使って、文を一つ作りましよう。

夫	夫
夫	夫
夫	夫
夫	夫
夫	夫
夫	夫

(れい) 昨年は暑かったが、今年はずずしい。

部首 昨 ひへん

③ 画数 9 画

読み方

特別な読み方

昨日(きのう) ← 今日(きょう) → 明日(あす)

おぼえて おぼろげ

(れい) 夫は、写真家だ。

部首 夫 たい

③ 画数 4 画

なりたち

頭にかんむりをのせたおとなの男の人の意味。

夫 ↓ 夫

意味 ① けっこんした男。② 一人前の男。

① 読み方を書きましよう。

④ 司のつく言葉を書きましよう。

② 筆順に気をつけて練習ましよう。

⑤ 司を使って、文を一つ作りましよう。

○に注意ましよう。

司	司

部首 司 くさ 画 画

③ 画数

意味 全体を取りまきる(人)。

にている字

同じ 司会

(れい) お楽しみ会の司会をつとめる。

① 読み方を書きましよう。

④ 灯のつく言葉を書きましよう。

② 筆順に気をつけて練習ましよう。

⑤ 灯を使って、文を一つ作りましよう。

灯	灯

部首 灯 ひん 画 画

③ 画数

意味 明かり。ともひ。

なりたち

ろうそくを立てる台の上で
もえる火を表す。

灯

(れい) ストープに灯油を入れる。

4 次の文章は、漢字辞典(漢和辞典)についてせつめいしたものです。()に当てはまる言葉を後の□からえらんで、記号を書きましよう。(16点(一ツク))

漢字辞典(漢和辞典)を使うと、漢字の音や
① ()の読み方、意味や使い方、② ()
などを調べることができます。組み立ててい
る部分や③ ()、その漢字を使った
④ ()についても、調べることができます。

その漢字がどの
ようになしてい
たかを、「成り
立ち」といよ。



- ア 言葉 イ 成り立ち
ウ 訓 エ 画数

5 次の文章は、漢字辞典(漢和辞典)の使い方についてせつめいしています。()に当てはまる言葉を後の□からえらんで、書き入れましよう。(同じ言葉を二度使ってもよい。)(24点(一ツク))

① 漢字辞典では、同じ部分をもつかどうかで、漢字を分類しています。
そして、()の少ないものから順にならべています。

② 漢字を分類するとき、形のうえで目印になるものを()
といいます。部首には、へんや()、かんむりなどの部
分が使われます。

③ 漢字を作っているひとつづきの線や点を画といいます。このひとつづ
きで書く部分を()と数えます。全部で何画で書くか
が、その漢字の()です。

④ 漢字辞典には、「()さくいん」「部首さくいん」「総さ
くいん」の三つのさくいんがついています。漢字をさがすときは、
三つのうちのどれかを使います。

- 音訓 画数 一画 つくり 部首

正しいのはこつぱり! 案あれば苦あり

答え 90ページ

5 ④ 漢字の音や訓が分かるときに使うさくいんだよ。

